

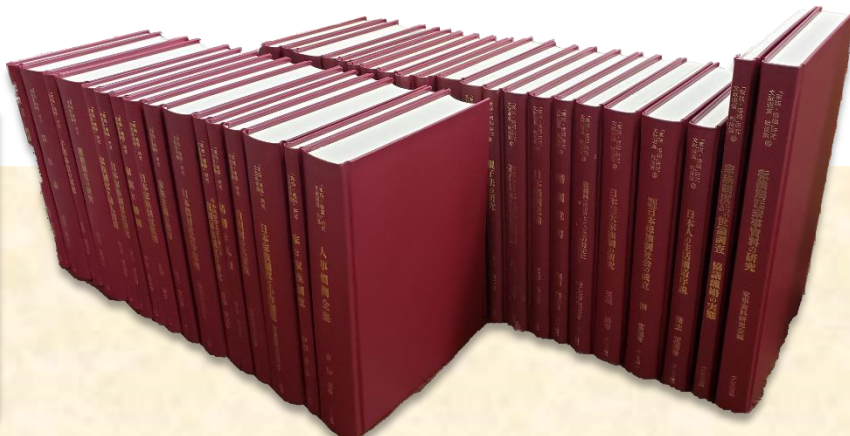


「家族・婚姻」研究文献選集

戦前篇・戦後篇

湯沢 雍彦 監修

長らく品切れ状態が続き、再版が待たれた、各学問分野における「家族」研究から精選された古典の集成が、いま電子書籍でよみがえる！



戦前篇 全16巻揃価格(15巻+別巻) (分売可)

同時1アクセス(本体)

¥254,100

同時3アクセス(本体)

¥508,200

戦後篇 全22巻揃価格 (分売可)

同時1アクセス(本体)

¥298,650

同時3アクセス(本体)

¥597,300

当代一流の研究者による
豪華執筆陣！

※肩書は刊行当時のものです。ご了承ください。

巻数	戦前篇 担当者
第1巻	老川寛(明治学院大学教授)
第2巻	湯沢雍彦(お茶の水女子大学教授)
第3巻	田中弘子(仙台白百合短期大学助教授)
第4巻	星野澄子(国学院大学講師)
第5巻	犬塚都子(聖セシリア女子短期大学講師)
第6巻	川崎末美(東洋英和女学院短期大学講師)
第7巻	落合恵美子(同志社女子大学講師)
第8巻	野崎衣枝(順天堂看護専門学校講師)
第9巻	酒井はるみ(茨城大学助教授)
第10巻	岡村益(福島大学名誉教授)
第11巻	岡田照子(岐阜女子大学教授)
第12巻	清水浩昭(厚生省人口問題研究所動向部長)
第13巻	石原豊美(農業総合研究所研究員)
第14巻	光吉利之(奈良女子大学教授)
第15巻	山田昌弘(東京学芸大学講師)
別巻	湯沢雍彦(お茶の水女子大学教授)

巻数	戦後篇 担当者
第1巻	無藤隆(お茶の水女子大学助教授)
第2巻	中込睦子(名城大学短期大学非常勤講師)
第3巻	服藤早苗(横浜国立大学非常勤講師)
第4巻	戒能民江(東邦学園短期大学講師)
第5巻	有地亨(聖心女子大学教授)
第6巻	依田精一(東京経済大学教授)
第7巻	野崎衣枝(順天堂医療短期大学非常勤講師)
第8巻	古谷昭(金城学院大学教授)
第9巻	天木志保美(同志社大学助教授)
第10巻	石井美智子(東京都立大学助教授)
第11巻	佐竹洋人(東京家庭裁判所家事次席調査官)
第12巻	星美智子(玉川大学講師)
第13巻	床谷文雄(大阪大学助教授)
第14巻	河野亮子(聖徳短期大学講師)
第15巻	加藤美穂子(白鷗大学教授)
第16巻	岡田照子(岐阜女子大学教授)
第17巻	下夷美幸(社会保障研究所研究員)
第18巻	黒木三郎(早稲田大学教授)
第19巻	明石一紀(都立高校講師)
第20巻	清水浩昭(厚生省人口問題研究所動向部長)
第21巻	湯沢雍彦(お茶の水女子大学教授)
第22巻	関彌一郎(横浜国立大学教授)

刊行にあたって

「家族・婚姻」研究文献選集は、人類社会において永遠のテーマであり、現在一般の関心も高い「家族」の問題を、それに係る婚姻、親子、婦人、離婚等を含めて、社会学・人類学・教育社会学・法制史学・民俗学等あらゆる分野から研究できるように精選し、集めたものである。社会の変化とともに、「家族」の在り方も変わり続けている。現代の家族研究をしていく上でも、過去の家族制度とその移り変わり等を踏まえ、広い視野で「家族」の研究をしていくことが必要であると思われる。今回、明治から昭和20年(終戦)以前に出版された単行本(翻訳は除く)より、研究者の主要著作を数多く取り入れ、現在入手が困難な研究文献、家族研究には必要な文献を選び、復刻刊行する運びとなった。(クレス出版)

	書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時1アクセス(本体)	同時3アクセス(本体)	商品コード
■「家族・婚姻」研究文献選集 戦前篇							
婚姻、親子、婦人、離婚等「家族」の問題を扱った著作の中から、社会学、人類学、教育社会学、法制史学、民俗学等あらゆる分野から研究できるように精選し、明治から昭和20年(終戦)以前に出版されたものを2回に分けて「戦前篇」として集成する。長らく品切れ絶版が続く、復刊が待たれていたシリーズ、待望の電子化です。							
■「家族・婚姻」研究文献選集 戦前篇 第1回							
	湯沢雅彦	-	-	4906330169	¥125,400	¥250,800	-
第1巻	増補 族制進化論	有賀長雄	1890	-	¥15,675	¥31,350	-
第2巻	隠居論	穂積陳重	1915	-	¥15,675	¥31,350	-
第3巻	子供本位の家庭	安部磯雄	1917	-	¥15,675	¥31,350	-
第4巻	離婚制度の研究	穂積重遠	1924	-	¥15,675	¥31,350	-
第5巻	家族制度と婦人問題	河田嗣郎	1924	-	¥15,675	¥31,350	-
第6巻	日本家族制度史研究	砂川寛栄	1925	-	¥15,675	¥31,350	-
第7巻	家族と婚姻	戸田貞三	1934	-	¥15,675	¥31,350	-
第8巻	日本家族制度批判	玉城肇	1934	-	¥15,675	¥31,350	-
■「家族・婚姻」研究文献選集 戦前篇 第2回							
湯沢雅彦							
第9巻	家族主義の教育	新見吉治	1937	-	¥16,060	¥32,120	-
第10巻	日本農村社会学原理	鈴木栄太郎	1940	-	¥16,060	¥32,120	-
第11巻	日本民俗学上より見たる我国家族制度の研究	橋浦泰雄	1941	-	¥16,060	¥32,120	-
第12巻	結婚と人口	岡崎文規	1941	-	¥16,060	¥32,120	-
第13巻	白川村の大家族	江馬三枝子	1943	-	¥16,060	¥32,120	-
第14巻	日本家族制度と小作制度	有賀喜左衛門	1943	-	¥16,060	¥32,120	-
第15巻	家と家族制度	戸田貞三	1944	-	¥16,060	¥32,120	-
別巻	人事慣例全集+別冊解題	自治館編	1911	-	¥16,280	¥32,560	-
■「家族・婚姻」研究文献選集 戦後篇							
「戦前篇」に続き、婚姻、親子、婦人、離婚等「家族」の問題を扱った著作の中から、社会学、人類学、教育社会学、法制史学、民俗学等あらゆる分野から研究できるように精選し、昭和21年から35年までに出版されたものを2回に分けて「戦後篇」として集成する。長らく品切れ絶版が続く、復刊が待たれていたシリーズ、待望の電子化です。							
■「家族・婚姻」研究文献選集 戦後篇 第1回							
湯沢雅彦							
第1巻	農村児童の心理	牛島義友	1946	-	¥13,090	¥26,180	-
第2巻	日本民俗論	和歌森太郎	1947	-	¥13,090	¥26,180	-
第3巻	民衆生活史研究	西岡虎之助	1948	-	¥13,090	¥26,180	-
第4巻	社会生活と家族法	戒能通孝	1949	-	¥13,090	¥26,180	-
第5巻	家族史の諸問題	青山道夫	1949	-	¥13,090	¥26,180	-
第6巻	相続法の諸問題	中川善之助	1949	-	¥13,090	¥26,180	-
第7巻	新しい家の倫理	我妻栄	1949	-	¥13,090	¥26,180	-
第8巻	妻・夫・親・子・嫁・しうとめ	土井正徳	1953	-	¥13,090	¥26,180	-
第9巻	社会学大系 家族	田辺寿利	1953	-	¥13,090	¥26,180	-
第10巻	家族生活の尊重	牧野英一	1954	-	¥12,650	¥25,300	-
第11巻	調停読本	日本調停協会連合会編	1954	-	¥13,090	¥26,180	-
■「家族・婚姻」研究文献選集 戦後篇 第2回							
湯沢雅彦							
第12巻	家族関係の心理	牛島義友	1955	-	¥14,080	¥28,160	-
第13巻	親子法の研究	谷口知平	1956	-	¥14,080	¥28,160	-
第14巻	近代日本における家族構造	玉城肇	1956	-	¥14,080	¥28,160	-
第15巻	日本婚姻法論	高梨公之	1957	-	¥14,080	¥28,160	-
第16巻	婚姻覚書	瀬川清子	1957	-	¥14,080	¥28,160	-
第17巻	慰籍料(民法七〇条)の算定に関する実証的研究	村上幸太郎	1958	-	¥14,080	¥28,160	-
第18巻	日本における大家族制の研究	玉城肇	1959	-	¥14,080	¥28,160	-
第19巻	訂正増補日本母権制社会の成立	洞富雄	1959	-	¥14,080	¥28,160	-
第20巻	日本人の生活構造序説	蒲生正男	1960	-	¥14,080	¥28,160	-
第21巻	家族制度についての世論調査	内閣総理大臣官房審議室	1957	-	¥14,080	¥28,160	-
	協議離婚の実態(21巻購入時に付属)	労働省婦人少年局	1961	-	-	-	-
第22巻	転換期における家事資料の研究+別冊解題	家事資料研究会編	1963	-	¥14,300	¥28,600	-

● 表示価格は税抜きです。

2020年10月